

サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ花だより

No.3

今のおすすめは カキツバタ です



＜約 10 cm＞

一周約 1km
所要時間30～40分

初夏の小鳥たちの
さえずりをききながら
散策を楽しんでください

【発見難易度】 紫色の花です

★☆☆☆☆ アヤメ科

【花の高さ】

【花の大きさ】



中(約 50～60cm程度)



手のひらくらい

【漢字: 杜若】

雨と水辺が似合う、しっとりと優美な花です。古来より日本人を魅了してきて、和歌や絵画に描かれてきました。サロベツ湿原には他に2種類のアヤメ(ノハナショウブ、ヒオウギアヤメ)が咲きますが、カキツバタは白い筋がスッと入っているのが特徴です。

エゾカンゾウ ススキノキ科 咲いています



正式な名前は「ゼンテイカ」ですが、本州では「ニコウキスゲ」としても親しまれています。朝に開花し夕方閉じる1日花ですが、続々と開花していきます。花はエゾシカの好物です。

カラフトイソツツジ ツツジ科 咲いています



ツツジでイメージされるより、かなり低く細い木です。花が球状にたくさん咲きます。「エゾ(蝦夷)」の聞き間違いから「イソ(磯)」と名付けられ、磯には生えません。

ワタスゲ カヤツリグサ科 果穂が見られます



雪どけ後すぐにとっても地味な花が咲き、その後白いふわふわの果穂ができます。白い綿穂が緑の湿原で風に揺れるさまは、初夏のサロベツらしい風景です。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL 0162-82-3950 FAX 0162-73-0360

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

http://www.sarobetsu.or.jp/

Facebook も見てね!